

きのこを作ってキノコを知る

大田 広子

2017年10月の、きのこワンダーランド展 オクトーバーフェストで入会しました。

キノコットンという名で、2017年からきのこイベントに参加し、作品を発表しています。主に布やヒモ・糸などを使い、きのこ鞆や入れ物、オブジェ等制作しています。

きのこに興味を持ったのは10年前位からだったと思います。

イメージできのこ作品を作っていましたが、あやふやで人に説明できない事が胸に引っかかり、もっときのこの事を知りたい欲求が募りました。

都内在住なので、まずは都会の公園の観察会に参加してみました。観察会では多くのきのこを見る事が出来ますが、説明が早すぎて初心者の私には中々記憶に留める事が出来ません。どうしたらきのこを覚える事が出来るだろうか？きのこ本を集めてみましたが、うっとり眺めるだけで満足してしまいます。ここ数年、SNSを始めてからきのこ情報に食欲にきのこ中心の生活になっています。

ツマミタケとの出会い

2018年5月都内の公園に1人で観察に通い始めました。その時出会ったのがツマミタケです。ほんとに、なんじゃこりゃ!!なきのこでした。

キツネノタイマツと一緒にウッドチップのそこら中に出ています。

卵の様な白い菌蕾がたくさん。表面は少し

乾燥していて、何よりも印象的なのは、ダンゴ虫が群がって、むさぼり食っています。ハエも余程美味しいのか、先端の臭い匂いを発するグレバから離れません。

どの個体を見てもほとんど虫に食われて美しい成菌を見る事は出来ませんでした。※(寒くなってダンゴ虫がいない季節になると、きれいな状態のツマミタケを見る事が出来ました)(写真①)

幼菌の状態から虫に食べられて、なんだかかわいそうです。

よく見ると白い外皮膜の下は黄色い膜があり、その下にまた白い膜がある様です。周りの小枝や葉に白い菌糸も見えます。

なんでこんな糸から、ひょっこり卵が出来るのだろう。ほんとにきのこは不思議です。



写真① 11月のツマミタケ
ダンゴ虫はどこにも、見当たらず接近してもハエはグレバから離れない。

これを作りたい!!!と思ってしまったのです。気が付くと虫に食われた様子を何十枚も写真に撮っていました。美しい写真はありません。虫に食われた汚いフンだらけの写真です。

柄のスポンジ状の断面、ツボの内部、成菌が伸びた時に内側の白い柱みたいな出っ張りで柄の根元を支えているのかしら? (写真②)



写真② 6月のツマミタケのツボ内部
よく見かけるのは柄が4角柱だが、図鑑には3~7角柱と記載があり、この個体は5角柱。柄の面と面の間、稜角の向かいに支える様に白い出っ張りがある。柄の面の部分にはゼリー状態のものが見える。ダンゴ虫がお食事中。



写真③ 塊状のグレバウニ? カニミソの様?

グレバが無くなり乾燥した赤い部分はニワトリのトサカのような質感に見えます。

柄はシワシワで折りたたまれていたのが伸びていく様子を想像できます。

そしてツマミタケを作る

このピンク色の柄はどうやって作ろうか、食われた幼菌を作りながら考えました。

私は、材料のヒントを得るために、100円ショップやホームセンターに行くのが好きです。台所用品売り場で小さなピンク色のスポンジが目につきました。これだ!!!と思いその色が入っているスポンジを何袋も買い込み、カッターで薄くスライスして糸で縫ってみました。思った通りツマミタケの質感に似ています。これを何枚も縫い合わせ形にしました。(写真④)



写真④ ツマミタケの制作過程

薄くスライスしたスポンジを何枚も縫って重ねた先端の腕の部分は布で作っている。

こんな風に印象に残ったきのここと対話し、素材と対話し、きのこ作品を作っています。2019年のスライド会では、このツマミタケのオブジェと観察した写真を小冊子にしたものを小物展示しました。(写真⑤)



図⑤ ツマミタケのオブジェと観察写真の小冊子

他にヒイロタケとシュタケのボトルケース、オゾニウム、コキララタケのペンケース、吹春さんの博物館 30 年記念という事を知りまして、吹春さんが記載されました、ウシグソコナヒトヨタケのブローチを展示しました。ウシグソと言いましても、これは会員の中島淳志さんが発見したエゾシカのフンから生えた小さな糞生菌だそうです。そんなエピソードを聞きながら、作ろう！！と手が動きます。どの作品も語り始めたら長くなるので、またの機会にいたします。(写真⑥⑦⑧⑨)

きのこ作品を作りながら、少しずつきのこを覚えて楽しんで菌活しています。

皆さんからのきのこの話をたくさん聞いて作品を増やし、いつか個展をする事が目標です。今後ともよろしくお願ひいたします。



図⑥ ヒイロタケとシュタケのボトルケース

図⑦ オゾニウム・コキララタケのペンケース



図⑧ ウシグソコナヒトヨタケのブローチ



図⑨ ウシグソコナヒトヨタケ (写真: 吹春俊光)

2019年 キノコットン活動予定

5月3日(金) オオサカきのこ大祭 京セラドーム

10月19日(土)・20日(日) ヨコハマきのこ大祭 みなとみらいMM テラス